

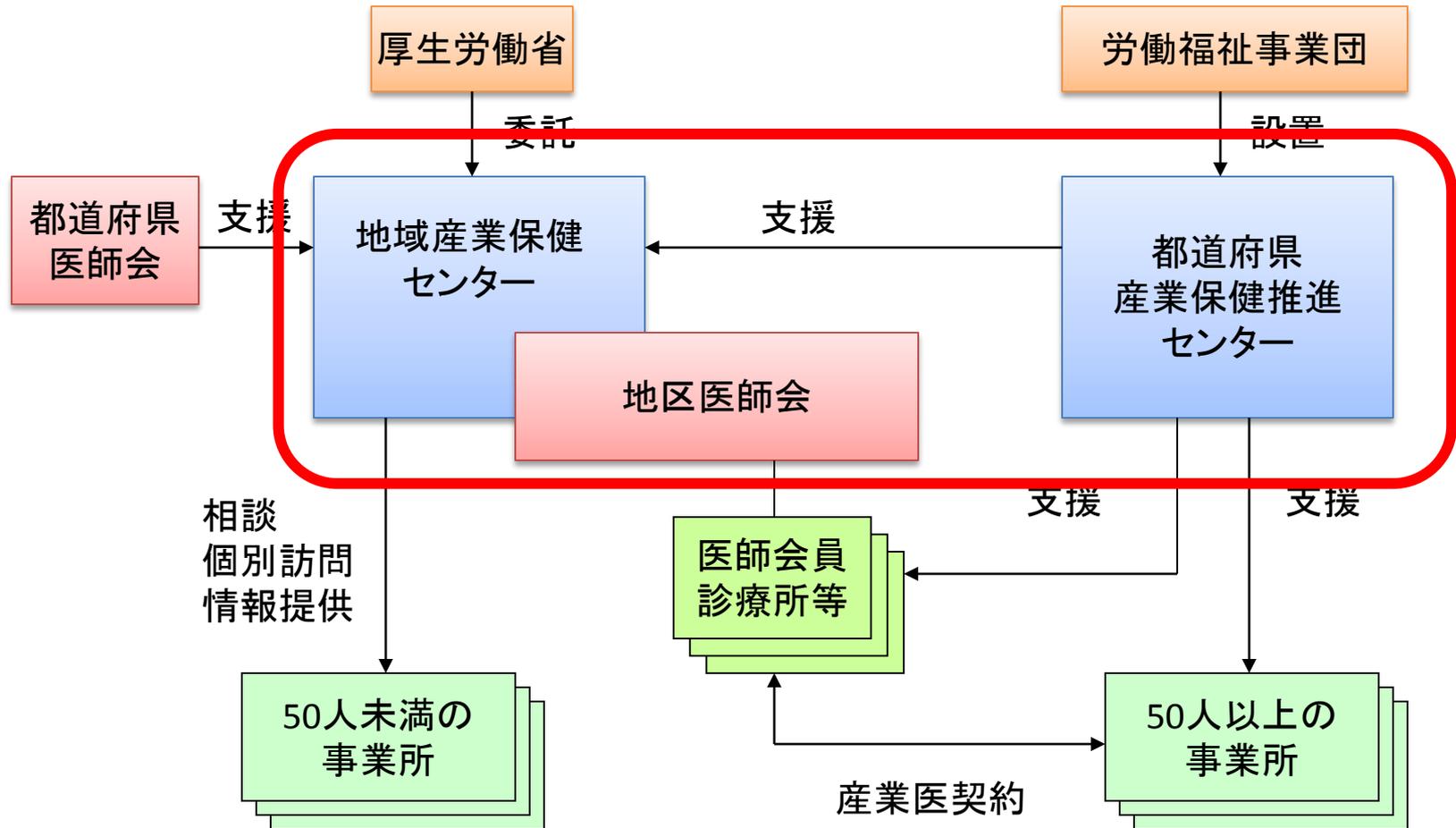
Fit For Work Service制度化を 目的とした研究について

産業医科大学
公衆衛生学教室
松田晋哉

現状についての共通認識

- 厳しい保険財政
 - 38.4兆円（H24国民医療費）
 - 伸び率： 1.7%
 - 70歳以上： 17.4兆円（45.4%）
 - 健康保険組合の2012年度決算：2976億円
の赤字
 - 高齢者医療への支援金：総額3兆1328億円
- 企業の雇用方針の変化

わが国の地域産業保健事業の体系



英国における傷病の労働損失に 及ぼす影響の公的報告

- 健康問題による損失
 - 約1億7500万労働日／年
 - 1000億ポンド／年＝15兆円（1ポンド＝150円）
- 働くことの健康への影響
 - 健康は就業の条件であると同時に、働くことは健康に良い影響がある。
- 労働損失関連コストの相当額は早期対応により回避可能



Impact of chronic disease on labour force participation.

MJA 2008 189:447-450

Long-term health conditions associated with being out of the labour force and the lost workforce because of each condition

Condition	Adjusted OR* (95% CI)	P	EP [†]	Lost workforce [‡]
Back problems (dorsopathies)	3.59 (2.98–4.33)	< 0.001	0.721	144 764
Arthritis and related disorders	3.06 (2.52–3.73)	< 0.001	0.674	134 318
Mental and behavioural disorders	5.71 (4.16–7.84)	< 0.001	0.825	55 757
Diseases of the nervous system	3.25 (2.42–4.35)	< 0.001	0.692	39 976
All other conditions	3.42 (2.43–4.82)	< 0.001	0.708	33 169
Depression/mood affective disorders (excluding postnatal depression)	6.71 (4.44–10.14)	< 0.001	0.851	32 724
Other diseases of the musculoskeletal system and connective tissue	3.16 (2.25–4.44)	< 0.001	0.683	31 452
Heart diseases	4.21 (2.77–6.40)	< 0.001	0.762	31 363
Injury/accident	3.71 (2.63–5.23)	< 0.001	0.730	30 311
Diabetes	2.52 (1.85–3.43)	< 0.001	0.603	27 004
Hypertension (high blood pressure)	1.29 (1.03–1.62)	0.03	0.227	19 546
Neoplasms (tumours/cancers)	3.66 (2.19–6.11)	< 0.001	0.727	16 525
Diseases of the respiratory system	3.68 (2.07–6.54)	< 0.001	0.728	16 014

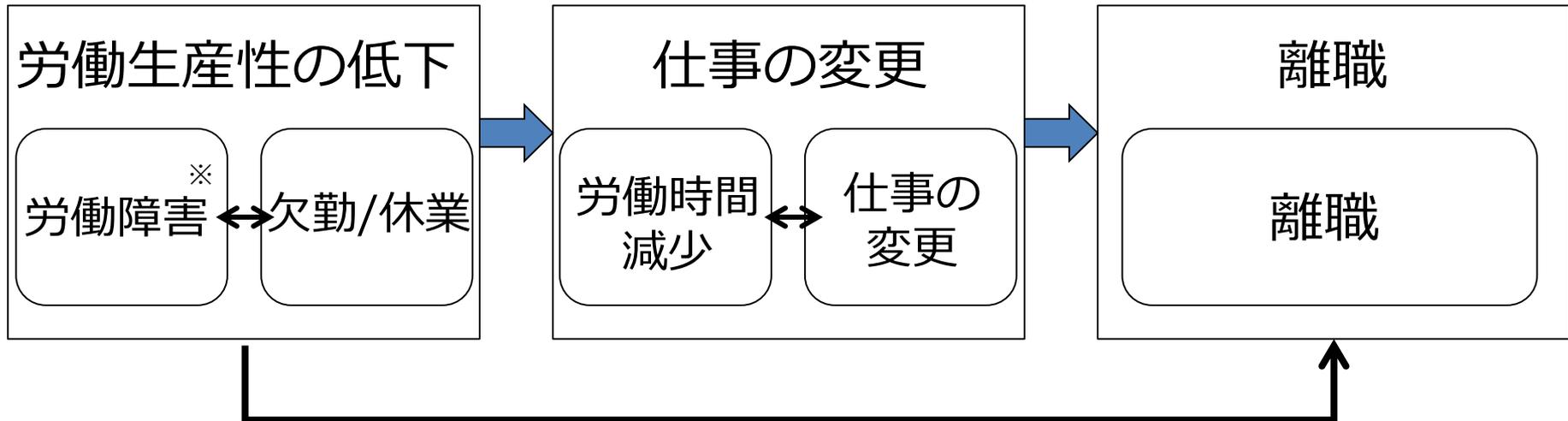
健康問題のために就労不能のオーストラリア人(45歳から64歳)は663,000人程度
これは年間120億\$の損失に相当する。

活力ある高齢社会の実現のために

- 臨床的治療のアウトカム評価として、職場復帰・就業の継続・労働生産性の評価が重要となっている。
 - Presenteeismの防止
 - 雇用継続を目的とした高齢者の健康管理
 - 全年齢を対象とした医学面からの就業支援

労働生産性評価の意義

関節炎による就労状況の変移



※労働障害

- ・遅刻や早退による労働時間の減少
- ・労働時間中の工作中断
- ・会議に出席できない
- ・特別の職務を引き受けられない など

労働生産性の低下を防ぐことは、長期的なQOL向上につながる。

労働生産性の評価

- 労働生産性は主に2つの要素から構成される指標
 - Absenteeism (病気による欠勤や休業)
 - Presenteeism (出勤している労働者の健康問題による労働遂行能力の低下)
- 米国の研究では、病気による経済損失の71%を Presenteeism が占め、Absenteeism 29% よりも問題の深刻性が強調されている*。
- 労働生産性を評価する尺度として、仕事の生産性および活動障害に関する質問票(WPAI)が近年注目されている。

Presenteeismとは

- 「疾病勤務」
 - 体調不良など健康問題によって、生産性が制限されている状態
- 特徴
 - 肩こり、腰痛、花粉症、生理痛など、健康問題として意識されにくい症状を含む
- 問題意識
 - 労働者のQOLの低下
 - 経営上の隠れた損失
- 早期介入の有効性（例: 英国Fit for Work）
 - 労働者のQOLの改善
 - 労働損失の改善

Presenteeism調査票

- Stanford Performance Scale
 - 日本語版(フリー)
- Work Limitation Questionnaire
 - Tufts大学開発
 - 日本語版は、損保ジャパン、1000件で50万円のコンサルティング
- WPAI-GH
 - Work Productivity and Activity Impairment Questionnaire
 - 日本語版(フリー)
- Work Ability Index
 - もともとは高齢者の就業能力の判定

日本の労働環境に適さない質問項目も含まれる

現状についての共通認識

- 厳しい保険財政
- 企業の雇用方針の変化
 - 経団連：「新時代の日本的経営」(1995年5月)
 - 長期継続雇用と言う考えに立って企業としても働いてほしい、従業員も働きたいという「長期蓄積能力活用グループ」
 - 必ずしも長期雇用を前提としない「高度専門能力活用型グループ」
 - 働く意識が多様化している「雇用柔軟型グループ」

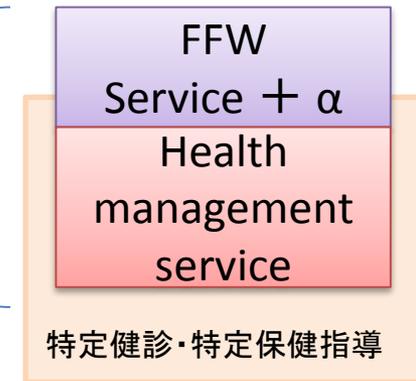
医療保険で給付できない場合 (ヨーロッパ的な運用)

現状についての共通認識

- 厳しい保険財政
 - 企業の雇用方針の変化
 - 経団連: 「新時代の日本的経営」(1995年5月)
- 長期継続雇用と言う考えに立って企業としても働いてほしい、従業員も働きたいという「長期蓄積能力活用グループ」
 - 必ずしも長期雇用を前提としない「高度専門能力活用型グループ」
- 働く意識が多様化している「雇用柔軟型グループ」

保険者の事業

保険者



モデルを作って
研究できないか?

Outcome 指標

- 休職期間
- 医療費
- 休業補償
- 職務満足度
- 労働生産性、etc

公的 FFW Service

特定健診
特定保健指導

ヨーロッパ諸国の医療制度・
産業保健制度・雇用制度の
日本との比較研究

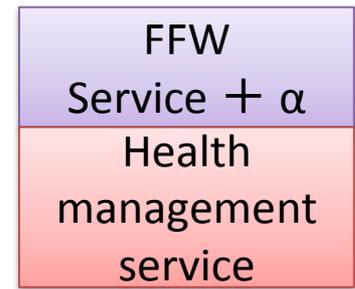
医療保険で給付できない場合 (アメリカ的な運用)

現状についての共通認識

- 厳しい保険財政
- 企業の雇用方針の変化
 - 経団連: 「新時代の日本的経営」(1995年5月)

- 長期継続雇用と言う考えに立って企業としても働いてほしい、従業員も働きたいという「長期蓄積能力活用グループ」
- 必ずしも長期雇用を前提としない「高度専門能力活用型グループ」
- 働く意識が多様化している「雇用柔軟型グループ」

民間事業者



Fringe benefit

カフェテリアプラン
的選択肢

自主的な健康管理



アメリカの医療制度・産業保健制度・雇用制度の日本との比較研究

アジアへの展開も可能か？

